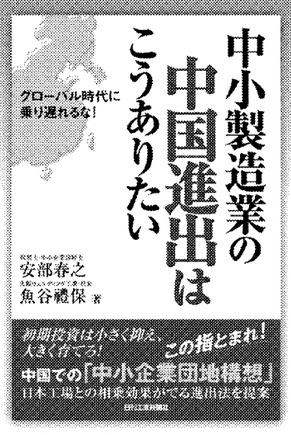
好評発売中!!　日刊工業新聞社の本

グローバル時代に乗り遅れるな！
中小製造業の中国進出はこうありたい

初期投資は小さく抑え、大きく育てろ!

著者　税理士・中小企業診断士
安部 春之 著
大阪ウェルディング工業・社長
魚谷 禮保 著



〈内　容〉
日本の中小製造業は、いまグローバル化の波に飲み込まれ、これまで経験したことのない苦境に立たされている。しかし、見方を変えれば、日本の中小製造業が誇る高度な技術力を持ってさえすれば、中国をはじめ成長著しい東南アジア全体を大きな市場にできる千載一遇のチャンスでもある。本書は実際に中国進出を果たし、実績を上げている中小製造業の経営者にインタビューし、その躍進の秘訣とは何かを熱い想いでまとめられたものである。取り上げられたエピソードの中に込められた中小製造業の中国進出のノウハウは、中国進出を考えている経営者の決断の背中を押すのに十分な内容となっている。

●46判　●206頁
●定価　1,470円（本体価格1,400円）

〈目　次〉
第一章　中国進出の背景と決断
第二章　進出後のトラブルとその対処
第三章　中国事情の素直な捉え方
第四章　大阪ウェルディング工業の取り組み
第五章　中小製造業の中国進出はこうありたい
第六章　後継者の育成

激動するアジア経営戦略

中国・インド・ASEANから中東・アフリカまで

著者　甲南大学経営学部　教授
安積 敏政（やすづみ　としまさ）著

〈内　容〉
不況の波をまともに受けた日本企業も攻勢に舵を切り、2010年以降の長期ビジョンや中期計画の策定に取り組む絶妙のタイミングを迎えている。日本企業が勝ち残っていくための「これからのアジア戦略」を、具体的に提示した一冊。

〈目　次〉
第1章　経営視点からの世界の注目市場の変遷
第2章　日本企業のアジアの収益性実態
第3章　業界別アジアの成長性と収益性実態
　－代表的10業種の事例－
　1．製造業　2．非製造業
第4章　これからのアジア戦略を視野にいれた注目地域
　1．アジアの新たな注目国・地域
　2．南アジア　3．中東
　4．アフリカ
第5章　これまでのアジア戦略、これからのアジア戦略
　1．これまでのアジア戦略
　2．これからのアジア戦略
　3．持続的な成長性・収益性確保のための地域経営機能の強化

●A5判　●450頁
●定価　3,990円（本体価格3,800円）

◆お求めは書店または下記FAX申込書にご記入の上、弊社出版までFAXでお申し込み下さい。◆

FAX申込書
お申し込み・お問合せ先
日刊工業新聞社
大阪支社　出版販売
〒540-0031 大阪市中央区北浜東2-16
TEL 06(6946)3372
FAX06(6946)3379

ご住所：〒	TEL： FAX：	
会社名：　部署：		注文者名：
グローバル時代に乗り遅れるな！中小製造業の中国進出はこうありたい　初期投資は小さく抑え、大きく育てろ！　●定価1,470円（税込）	冊数：	金額：
激動するアジア経営戦略　中国・インド・ASEANから中東・アフリカまで　●定価3,990円（税込）	冊数：	金額：

お申し込みの際、複写（コピー）されたものをFAXされますようお願い致します。

東日本大地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます

Future Chemical Future Life

Chemicals for Electroless Plating
無電解めっき薬品

Treatment Chemicals for Printed Wiring Board
プリント配線板用処理薬品

Treatment Chemicals for Aluminum Alloys
アルミニウム合金用処理薬品

Treatment Chemicals for Plating on Plastics
プラスチックめっき用処理薬品

Glass Color for Firing
焼き付け用ガラスカラー

Chemicals for Metal Surface Treatment
金属表面処理薬品

Lead-Free Glass Color
無鉛ガラスカラー

Outstanding Company, OKUNO
技術のオクノ

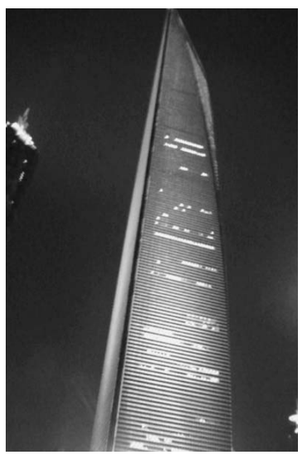
Chemicals for Electronics Parts
精密電子部品材料

Think ECO! OKUNO

奥野製薬工業株式会社　OKUNO CHEMICAL INDUSTRIES CO., LTD.
本社／〒541-0045　大阪市中央区道修町4-7-10
URL http://www.okuno.co.jp
E-mail kaihatsu@okuno.co.jp
大阪表面処理営業部　TEL(06)6968-6931
国際部　TEL(06)6961-7802
東京支店　TEL(03)3912-9244
名古屋支店　TEL(052)871-1601
営業所／東北・信州・京浜・浜松・九州
総合技術研究所

法円坂法律事務所
弁護士　帖田喜代隆（とだ）
弁護士　稲田堅太郎
弁護士　中島宏治
弁護士　高橋昌子
弁護士　西田敦
〒540-0011
大阪市中央区農人橋二－一－三〇
谷町八木ビル九階
TEL〇六（六九四四）一二七一（代）
FAX〇六（六九四六）八七四九
E-mail:info@hoenzaka-law.gr.jp

大連日本法律事務所
（日本法円坂律師事務所大連代表処）
首席代表弁護士　中島宏治
〒116001
大連市中山区中山広場四号
大連賓館三一一号室（旧ヤマトホテル）
TEL＋八六（四一一）八二六三〇二一一
FAX＋八六（四一一）八二八三四一一



中国ビジネス

ヒートアップする巨大市場

中国ビジネスはいま、大きな転換期を迎えようとしている。かつて世界の工場と呼ばれた中国は今や世界第二位の経済大国となり、世界が狙う巨大なマーケットを持つ国となった。そうした状況を背景に、中国ビジネスでのモノづくりはコストダウンを目指すための「メードインチャイナ」の時代から、中国で売れるモノをいかに作っていくのかという「メードフォーチャイナ」の時代へと変化しつつある。

競争激化
力を付けてきたローカル企業

中国経済に対しては「鈍化しはじめている」あるいは「バブル崩壊が近いのでは」という声が聞かれてきた。そうした懸念から、日本企業の中国進出ラッシュはひと段落するだろうと見られていた。しかし、中国への進出を検討する企業は増え続けているようだ。これは巨大なマーケットポテンシャルが中国にあるという要因だけでないだろう。日本経済の閉塞（へいそく）感も関係しているのではないかという見方がある。

りそな総合研究所の相談員で、中国ビジネスのコンサルティングや人材紹介サービスなどを行っている中国ビジネスネットワーク社長の藤田博氏は「ローカル企業との合弁、独資による会社設立など、中国進出に関する相談は今も増え続けている」と語る。

藤田氏によれば、最近は落ち着いていた自動車部品メーカーや機械部品メーカーといったようなモノづくり企業からの進出に関する相談が増えているという。「日本国内での受注や引き合いが激減していることから、自社の将来に危機感を持って中国進出に対する検討を始めた、というような企業がみられる」（藤田氏）。

中国マーケットには13億人以上という巨大なポテンシャルがある。しかし、そこで行われている競争はかつてよりも激化している。日本企業だけでなく、欧米や韓国企業が進出している。さらには力をつけてきた中国ローカルの企業もある。そういった背景からみると、中国マーケットは決して甘くない。むしろ日本国内のマーケットより厳しい側面を持っているといえるだろう。

意識変化
ブランディングが重要に

経済成長が著しい中国マーケットへの進出はこれまで以上に難しくなっている。その一つが中国消費者の意識変化だ。かつては「メードインジャパン＝高品質」「メードインジャパン＝安全」というイメージから、日本製は売れる商品だった。しかし、現在は単に「メードインジャパン」というだけでは売れなくなってきている。

購買力を持っている中国富裕層は目が肥えてきており、中国においても、日本や欧米と同じように「ブランド力」が重要になり始めている。高級自動車から粉ミルクにいたるまで、富裕層が競って購入する日本製品は商品やブランドを指定する、いわゆる「指名買い」が行われているからだ。それに伴って、中国マーケットへの進出を考える場合、自社あるいは自社製品のブランド確立ということも考えていかなければならなくなるだろう。

中国は工場から市場へと変化した。そのことによって、中国でのモノづくりも生産コストを下げるために行う「メードインチャイナ」から、中国でモノを買ってもらうためにさまざまな施策を講じていく「メードフォーチャイナ」の時代へと突入している。

注目企業の製品・技術　〈順不同〉

奥野製薬工業

表面処理薬品のリーディングカンパニー奥野製薬工業は、「トップルチナTHF（スルーホールフィリング用硫酸銅めっき添加剤）」や「OICカッパー（独立回路用無電解銅めっき液）」など時代の求める技術を広いユーザー層に提供。

海外展開にも積極的で欧州・アジア11カ国に事務所・代理店を持つ。中国には香港と上海、広東省に拠点を置く。同地でのさらなる発展を目指している。

法円坂法律事務所

法円坂法律事務所は中国・大連の事務所を拠点に、10カ所以上の法律事務所のネットワークを生かして中国での会社設立や現地での法律相談、中国企業との取引、ビザ問題などについて適切にアドバイスする。

大連事務所（大連弁事処）は中国東北部で最初に正式認可された日本の法律事務所。電子メールでの随時コンサルタント、日本弁護士による面接相談、提携の中国律師事務所との合同相談などのサービス体勢をとっている。

上村工業

上村工業は顧客ニーズを満たすべく現地でのサポート体制の充実を目指している。

現在中国には上海・香港・深圳に現地法人を、煙台・珠海に事務所を置いている。

さらに蘇州には技術センターを設置し、顧客に近い場所で技術的支援を提供している。

また深圳では日本との連携のもと、表面処理用薬品・研磨剤および機械装置の製造販売も行っている。

立花エレテック

立花エレテックは現在海外に子会社6社を置き、社内カンパニー「立花オーバーシーズホールディング社」が統括。近年は日本企業のみならず現地法人との取引を拡大している。半導体に加え今年度はFAシステム事業の拡充に取り組む。4月、FA担当執行役員を上海に常駐派遣。7月には武漢に産業メカ製品を展示販売するショールームを併設した営業所を開設。年内に大連にも拠点を開設予定だ。昨年は北京と深圳に支店を開設しており、今後数年は中国を中心に拡大戦略を続ける。

“めっき”は活躍の場を選びません。

ウエムラでは腐食の防止、耐摩耗性の向上、撥水性・潤滑性などの機能を付与する機能性めっきや装飾めっきの分野で時代の最先端を含む様々なフィールドで高レベルな表面処理技術を実現しています。

中国進出時にも対応
現地の日本人スタッフが対応いたします。
【上海】86（中国）021-6323-8833
【深圳】86（中国）0755-8992-9668
【香港】852（香港）2414-4251

機械・無電解ニッケルの拠点として体制を充実
深　圳
上村旭光化工机械（深圳）有限公司

▲深圳本社工場

華南地域の窓口として総合的にサポート
香　港
上村旭光有限公司

PWB電子部品分野を中心に営業・技術での対応
上　海
上村化学（上海）有限公司

▲蘇州技術センター

UYEMURA Japan
表面処理技術のリーディングカンパニー
上村工業株式会社
◈本　社　大阪市中央区道修町3-2-6　TEL.06-6202-8871
◈東京支社　東京都中央区日本橋大伝馬町12-7　TEL.03-5645-2525
◈名古屋支店　名古屋市西区菊井1-20-11　TEL.052-571-5381
◈中央研究所　大阪府枚方市出口1-5-1　TEL.072-832-8171
http://www.uyemura.co.jp
海外関連会社
シンガポール
マレーシア・米国
台湾・香港・タイ
上海・深圳・韓国

おかげさまで90年
90th Anniversary

90歳の知恵。
10歳の夢。

おかげさまで
創業90周年を迎えました。

私たちは、電機・電子の技術商社です。

1921年の創業以来、「信頼と技術」をお届けして90年。

「立花エレテック」に生まれ変わって10年。

そして2011年、次のステージへ。

株式会社立花エレテック
www.tachibana.co.jp/

株式会社立花エレテック（証券コード8159）　本社／〒550-8555 大阪市西区西本町1-13-25　TEL：06-6539-8800